

春のながぐつの土ようび「春の森たんけんたい」 H26年4月19日(土) 参加者110名(一般85)

天候に恵まれ、元気な子どもたちや、家族連れがたくさん集まりました。まだ雪が残る公園内を散策  
 ミズバショウやエゾノリュウキンカも顔を出していました。人工湿地にはエゾアカガエルの卵がたくさん  
 今日には特別に公園の許可をもらって人工湿地でのエゾアカガエルの卵の観察をしました。観察会には毎回  
 カエルや虫に詳しい酪農大の学生さんが参加、説明してくれたり、一緒に遊んでくれます。



春のたんけん出発前のお話し。  
 頭上にはアオサギが飛んで行きました。



春の森たんけんたい



原っぱには越冬したクモがたくさんいるね。



雪の合間に早くもミズバショウが出



ゆうさんがエゾアカガエルの卵の  
 説明をしてくれました。



エゾアカガエルをじっくり観察



卵は元の場所に返しました。



カエルの卵をさわってみると、柔らかくてプルプルン



エゾノリュウキンカ



フキノトウ



カタクリのつぼみ



モニ 1000 カエル卵塊数調査 2014年4月19日



人工湿地：エゾアカ卵塊 約 60個 梅の香ばし：エゾアカ卵塊 22個 エゾサン卵のう 6個